

「COVID-19 の院内感染対策の包括的分析」への情報の利用について

2024年5月10日

感染制御部

現在、感染制御部では「COVID-19 の院内感染対策の包括的分析」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2020年1月10日～2024年3月31日までの間

- ・入院時・入院中に SARS-CoV-2 陽性となった患者さん
- ・ SARS-CoV-2 陽性となった千葉大学医学部附属病院の職員

1. 研究課題名

「COVID-19 の院内感染対策の包括的分析」

2. 研究期間

2024年承認日～2029年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本研究の目的は COVID-19 流行時から現在に至るまでに採用された COVID-19 に対して行われた感染対策を検証し、将来の感染制御戦略の指針となる貴重な知見を提供し、感染対策の向上に貢献することです。医療スタッフの使用するマスク、入院時のユニバーサル・スクリーニング（症状の有無にかかわらず入院時には一律に新型コロナウイルスの PCR 検査を行うこと）などの様々な院内での感染対策など、院内感染者数に及ぼす因子を検証します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

入院時のユニバーサル・スクリーニングや、院内感染をした患者、職員の情報を診療録や罹患報告から収集します。クラスター時に職員が使用したマスクの種類、マス

クプロトコル（クラスターの状況に応じて職員が病棟で N95 マスクを着用することなど）の遵守状況、その他感染対策として行った介入。入院時のユニバーサル・スクリーニングにおける陽性者の検査時の状況（有症状/無症状、診断済み/診断前、入院理由）及び年齢、性別、基礎疾患、入院前 1 週間以内の感染者への曝露歴の有無。

また院内感染者の臨床情報として年齢、性別、基礎疾患、病棟、病室の種類（個室・多床室）、入院理由に関する情報。

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：感染制御部 助教 矢幅美鈴

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院感染制御部部員室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>）

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677
千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1
千葉大学医学部附属病院感染制御部

医師 矢幅 美鈴

0 4 3 (2 2 2) 7 1 7 1 内線 6 4 4 5